

## 入カマニュアル 第4版を順次配布します

前号でお伝えしておりました入カマニュアルの改訂作業が終了し、『図書館業務システム「皐月Ⅱ」入カマニュアル』第4版が完成いたしました。情報化委員以外の方でご協力くださった皆さま、大変お世話になりました。

今後、製本したものとCD（皐月Ⅱのインストールディスクに収録）の両方の形で各校に順次配布していきますので、お手元に届きましたら必ずご一読ください。

下のチェックリストは、入カマニュアル 第4版が届いた後に確認していただきたい項目です。ご確認が済みましたらチェック欄にチェックをして、第4版へのスムーズな移行にお役立てください。

### チェックリスト

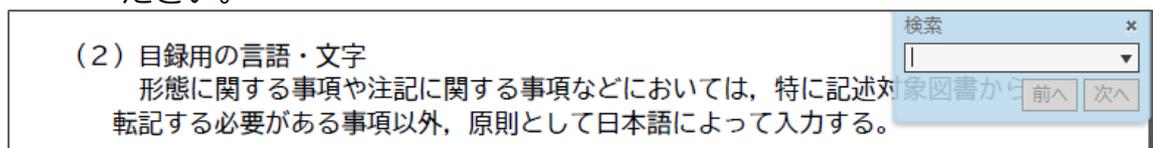
該当資料		チェック項目	☑
1	入カマニュアル	第3版と第4版の差し替えは終わりましたか。（第3版に書き入れているメモ等があれば第4版に転記した後に処分してください。）	
2	入カマニュアル表紙	入カマニュアル 第4版の内容を確認し、適用する日付は記入しましたか。（*各学校で配付する日が異なりますので、適用する日付は各自ご判断ください。）	
3	改訂一覧	入カマニュアル第4版で改正になった箇所を、第3版（改正前）と見比べることができる形で一覧にまとめています。入力作業の際にお手元に置いておくと便利です。	
4	「皐月Ⅱ」マニュアル	CD収録の「皐月Ⅱ」運用マニュアルを印刷して、前のものと差し替えましたか。（*入カマニュアル改訂に伴い、「皐月Ⅱ」運用マニュアルが変更になっています。）	

★入カマニュアル 第4版についてのご質問や疑問点等は、情報化委員 吉村（第一高校 TEL:096-354-4933）にお知らせください。

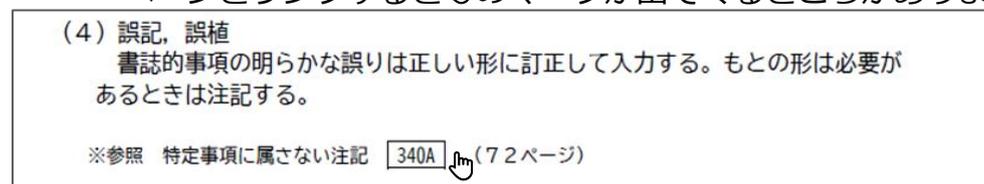
### 「入カマニュアル第4版」PDF版（CDに収録）の便利な機能

CDに収録されているPDF版では、検索やリンク機能を使って探している項目に素早くたどり着くことができます。皐月を使用するPCにコピーしてぜひ使ってみてください。

【検索機能】 Ctrl+Fを押すと、検索画面が出てきます。調べたい項目を入力してください。



【リンク機能】 参照の部分はマウスをあてると手のマークが出てきて、クリックすると関連箇所をすぐに参照することができます。参照の部分の他にも関連ページとリンクすると手のマークが出てくるところがあります。



「皐月Ⅱ」入力マニュアル第4版 主な改正点

今回の入力マニュアル改訂において、大きく変更した点を載せています。第4版に従って書誌情報を入力する際は、以下の点について特にご注意ください。

I. マニュアル全体を通して改正した点

- ・半角で入力する部分について目次に☆印を挿入し、俯瞰できるようにしました。
- ・目録規則と表現を揃えて「著者名」→「責任表示」にしました。
- ・タグ番号を「皐月Ⅱ」の表記に合わせました。  
 【例】 (第4版) 251-259A 本タイトル (第3版) 251A 本タイトル
- ・タグ内の入力方法を「皐月Ⅱ」に合わせた表記にしました。\*参照 下表 20 ページ
- ・マニュアル上では便宜的にスペースの表示を■に統一しました。

II. 個別に改正した点 (特に注意が必要な箇所のみを載せています。他の変更点に関しては配布する改訂一覧を各自でご覧になり、確認してください。)

ページ	項目名	改正後	改正前
20	8 合集	1. 入力方法 (3) 責任表示, タイトル関連情報, 巻次が異なるもの ③タイトル関連情報が異なる <u>※TRCのタグは, 本タイトル251Aと252Aが別タグとして認識されるが, 「皐月Ⅱ」では251Aから259Aはすべて同じタグとして認識される。そのため, Ctrl+Enterで複数情報を入れる時, 一方の情報のみ付随するものについては, 各タグの行数を合わせる</u> こととする。	追加
25	部編名・巻次・回次・年次等	4. 部編名・巻次・回次・年次等の補記 (4) 最初の1巻が刊行されたときは巻次の表示がなく2巻目以降から巻次が表示された場合の最初の1巻目。続き物であることが明確な以下の場合に補記する。 <u>2, 2巻, Vol. 2</u> などのように序数が含まれる → [1], [1巻], [Vol. 1] 続 → [正]	追加
26	10 部編名・巻次・回次・年次等の読み/配列記号	2. 入力方法 (1) 部編名・巻次・回次・年次等の配列記号 551C には配列記号を数字・カタカナ・アルファベット (大文字) を6文字ごとに固定した形で, <u>2バイト (全角)</u> で入力する。	2 入力方法 (1) 部編名・巻次・回次・年次等の配列記号 551C には配列記号を数字・カタカナ・アルファベット (大文字) を6文字ごとに固定した形で, <u>1バイト (半角)</u> で入力する。
35	12 責任表示	3. 責任表示とするものの範囲 (2) 原則として注記するもの <u>複製本の解説者, 解題者等</u> (3) 原則として入力しないもの 注1) ただし, 解説抜きにはなりたない美術書等は責任表示に入力し, <u>複製本の解説者は注記する。</u>	追加
付則 2	33.付則	33-2.かな (3) 漢字内にあらわれる「か」「わ」は, <u>情報源の表示に関わらず, すべて大文字で入力する。</u>	追加
付則 2	33.付則	33-3.カタカナ (2)漢字中にあらわれる「ケ」「ツ」「カ」「ガ」「エ」「ワ」は, <u>情報源の表示に関わらず, すべて大文字で入力する。</u>	33-3.カタカナ (2)漢字中にあらわれる「ケ」「ツ」「カ」「ガ」は, 情報源の表示に関わらず, すべて大文字で入力する。

